

参 考 資 料

（参考１）「金融経済教育懇談会における論点整理（平成 17 年 6 月）」
で求められた金融庁の役割に対するこれまでの取組み状況

（参考２）主な金融経済教育における各団体等の取組み例

「金融経済教育懇談会における論点整理（平成 17 年 6 月）」で求められた金融庁の役割に対するこれまでの取組状況

○「金融経済に関わる多様な関係者の連携を促進するため、中立的立場から、現状の問題点の把握や認識の共有化を行う」役割として	
1. 金融行政に関するタイムリーかつ中立的な情報提供の充実	○各種報道発表の実施 ・平成 21 事務年度：544 件、平成 22 事務年度：467 件、平成 23 事務年度：445 件 ○ホームページ【利用者の方へーお知らせ】で危害・警告情報を提供 ・未公開株購入の勧誘にご注意！ ・投資勧誘等にご注意！ ・振り込め詐欺にご注意！ 等 ○新着情報メール配信サービスの実施 ・23 年度の登録件数は概ね 3 万 8 千件 ○「アクセス FSA」（月刊 金融庁広報誌） ・14 年に刊行、25 年 3 月 4 日に 116 号を発行 ・17 年 10 月より英語版「FSA Newsletter」を発行
2. 新設される「金融サービス利用者相談室」を通じた情報発信	○17 年 7 月に「金融サービス利用者相談室」を開設 ○相談等の受付状況及び主な相談事例のポイント等について、四半期ごとに公表 ・22 年度相談受付件数は 53,036 件、1 日当たりの平均受付件数は 218 件 ・23 年度相談受付件数は 41,726 件、1 日当たりの平均受付件数は 171 件 ○これまでに公表した主な相談事例のポイント等については、「利用者からの相談事例等と相談室からのアドバイス等」として取りまとめ、ホームページに掲載

3. 新たに開催される金融庁主催のシンポジウムの効果的な活用	○17 年度、「お金の使い方と地域社会について考えるシンポジウム」を大阪府、千葉県で開催 ○18 年度、「お金の使い方について考えるシンポジウム」を名古屋市で開催 ○金融取引に関するトラブル事例にもふれながら、生活設計や資産運用の在り方について考えるためのシンポジウムの開催 ・ 19 年度：広島市、大阪市、東京都、名古屋市、仙台市 ・ 20 年度：福岡市、金沢市、札幌市、高松市、熊本市 ・ 21 年度：那覇市、東京都、大阪市、広島市、名古屋市、仙台市、 ・ 22 年度：福岡市、金沢市、高松市、東京都、札幌市、熊本市 ○金融トラブルに巻き込まれないように注意喚起をすることをテーマとしたシンポジウムの開催 ・ 23 年度：名古屋市、那覇市、広島市、大阪市 ※シンポジウム参加者へのアンケートによると「有意義であった」「概ね有意義であった」とする意見や金融知識習得の必要性を「感じた」「どちらかといえば感じた」とする意見がともに 96%を占めていた。 ・ 24 年度：高松市、札幌市、さいたま市、熊本市、金沢市、福岡市
○「現に行われている多様な担い手による実践の中から、優れた事例を選別し広めていく過程を支援する」役割として	
4. 初等中等教育段階への新たな支援として、学習指導要領と有機的に関連した体系的な教育プログラムの開発に参画	○18 年 2 月に金融広報中央委員会が「金融教育プログラム検討委員会」を設置し、4 回の検討会議を開催、金融庁は幹事として参画 同検討委員会では、教育関係者や関係省庁と協力し、学校における金融教育普及に向けた実践的プログラムを 19 年 2 月に策定、公表 ○金融庁は、消費者庁「消費者教育推進のための体系的プログラム研究会」にオブザーバーとして参加 ○文部科学省と連携することにより、学生向け（中・高）学習指導要領について、金融経済教育の記載振りが充実されている ・ 小学校の学習指導要領は 20 年に改訂、23 年度から全面实施

	・ 中学校の学習指導要領は 20 年に改訂、24 年度から全面实施 ・ 高校の学習指導要領は 21 年に改訂、25 年度入学生から年次進行で実施 ○政府の多重債務対策本部において、金融庁から文部科学省に対し、多重債務について、高校の授業で取扱ってもらうよう要請 ・ 契約に絡めてクレジット問題の一つの被害として、家庭科の教科書に盛り込まれた。
5. 初等中等教育段階、社会人・高齢者段階を通じた支援として、優れた実践事例の周知や「後援」名義の積極的付与	○金融経済知識の普及に関する取り組みに金融庁後援名義を付与 ・ 20 年度 21 件、21 年度 18 件、22 年度 16 件、23 年度 17 件 ○金融経済知識の普及に功績のあった者を金融担当大臣・日本銀行総裁連名で表彰 ○金融広報中央委員会主催する「中学生向け作文コンクール」・「高校生向け小論文コンクール」において、優秀な作品を「金融担当大臣賞」として表彰 ○日本経済新聞社主催する論文コンテスト「日経 STOCK リーグ」において、優秀な論文を「金融担当大臣賞」として表彰
○「受け手の多様なニーズにマッチした情報の提供や、主体的に学ぶ個人の動機付けを行い、アクセスを確保する」役割として	
6. 新設される「金融行政アドバイザー」の活用や、現場レベルでの先生との懇談会、研修会の積極的实施を通じた、受け手のニーズの把握	○17 年 8 月、各財務局に金融行政アドバイザーを委嘱（各財務局 5 名） ○各財務局において「金融行政アドバイザー連絡会議」を開催し、金融経済教育を含む金融行政全般について意見を聴取 ○各財務局において、大学・高校等で金融経済教育に関する講演や講座などを実施 ○業界団体等が実施している教職員向けセミナー等に「後援」名義の付与 ・ 金融広報中央委員会：教員のための教育セミナー ・ 日本証券業協会：教員向け金融経済夏期セミナー、金融経済教育に関する学校長セミナー ○「基礎から学べるガイド」及び「基礎から学べる金融ガイド 講師用指導マニュアル」を地方公共団体等、大学・短大等、高校に対しサンプル配布（要望調べ）し、要望のあった団体へ配布 ・ 23 年度配布部数：地方公共団体等約 16 万部、大学・短大等約 12 万部、高校約 3 万部

7. 金融庁ホームページの継続的な改善	○国民生活に重大な関わりのある分野を中心に、ホームページの情報内容の充実を図るとともに、適宜トップページの見直しを実施し、情報の整理・集約を通じて利便性の向上を図っている ○金融経済教育に関する情報を集約 ・一般のみなさんへ：金融取引に関して役立つ情報や気をつけて欲しい情報を掲載 ・おしえて金融庁：子供や学生、これから社会人になる方向けに、金融の仕組みや金融商品の基礎知識を分かりやすく解説 ・関係団体の金融経済教育に関するホームページへのリンクを充実 ○小学校高学年を対象としたKIDS向けコンテンツ（ゲームやクイズ等）を導入 ○23年度から「金融庁モバイルサイト」を新たに立ち上げ、情報発信の充実に努めている
----------------------------	---

主な金融経済教育における各団体等の取組み例

対 象	生活設計・家計管理その他生活技術に関するもの		経済や金融のしくみに関するもの	金融トラブル防止に関するもの	キャリア教育に関するもの
	生活上必要な知識	個別金融商品に関する知識			
小 学 生	○こづかい帳 （金融広報中央委員会） ○イベント「親子のためのおかね 学習フェスタ」 （金融広報中央委員会）		○パンフレット「くらしと金融」 （金融庁） ○刊行物「金融に関する消費者教育の推進に当た での指針（２００２）」、「金融教育プログラム」、 「金融教育ガイドブック」、「はじめての金融教 育」 （金融広報中央委員会） ○DVD「見てわかる!金融教育」 （金融広報中央委員会） ○金融教育公開授業の実施、教員セミナーの開催 （金融広報中央委員会、各地金融広報委員会） ○金融広報アドバイザー派遣 （各地金融広報委員会） ○金融・金銭教育研究校制度 （各地金融広報委員会） ○教材「地球みらいプロジェクト」 （全国銀行協会） ○どこでも出張講座 （全国銀行協会） ○出張・受入授業「シェア先生の経済教室」 （東京証券取引所） ○親子経済教室 （東京証券取引所） ○刊行物「株式ABC」 （東京証券取引所）		○「ぼうさい探検隊」 （日本損害保険協会） ○小学生「夢をかなえる」作文全国コン クール （日本FP協会）
中 学 生	○カードゲーム「生活設計・マネ ープランゲーム」 （全国銀行協会） ○どこでも出張講座 （全国銀行協会） ○FPによる出張授業 （日本FP協会） ○WEBSITE「くらしに役立つ マネークイズ」	○教材「知ろう！学ぼう！お金の 使い方」 （全国銀行協会） ○副教材「生命保険って何だろ う」、「助け合いの歴史」 （生命保険文化センター）	○パンフレット「わたしたちの生活と金融の働き」 （金融庁） ○刊行物「金融に関する消費者教育の推進に当た での指針（２００２）」、「金融教育プログラム」、 「金融教育ガイドブック」、「はじめての金融教 育」 （金融広報中央委員会） ○DVD「見てわかる!金融教育」 （金融広報中央委員会）		○お金の作文コンクール （金融広報中央委員会） ○「中学生作文コンクール」 （生命保険文化センター）

	(日本FP協会) ○刊行物「10代から学ぶパーソナルファイナンス～社会人になっても役立つお金の知識～」 (日本FP協会)		○刊行物「10代のためのマネー入門 - お金やカードについて考えてみよう」 (金融広報中央委員会) ○金融教育公開授業の実施、教員セミナーの開催 (金融広報中央委員会、各地金融広報委員会) ○金融広報アドバイザー派遣 (各地金融広報委員会) ○金融・金銭教育研究校制度 (各地金融広報委員会) ○教材「あなたと銀行のかかわり」 (全国銀行協会) ○どこでも出張講座 (全国銀行協会) ○研究指定校制度 (全国銀行協会) ○教材「株式会社制度と証券市場のしくみ」 (日本証券業協会) ○教材「株式会社をつくろう！ミスターXからの挑戦状」 (証券知識普及プロジェクト※) ○「株式学習ゲーム」 (日本証券業協会・東京証券取引所) ○DVD「おだんご娘。とフシギな経済テレビジョン～株式会社とお金のしくみ～」 (証券知識普及プロジェクト) ○WEBサイト「金融経済ナビ」 (証券知識普及プロジェクト) ○刊行物「Rainbow News」 (証券知識普及プロジェクト) ○出張・受入授業「シェア先生の経済教室」 (東京証券取引所) ○親子経済教室 (東京証券取引所) ○教材・DVD「シェア先生と楽しく学ぼう・株式会社のしくみ」 (東京証券取引所) ○教材「ブルサ・株価の動きで学ぶ経済」 (東京証券取引所) ○刊行物「株式ABC」 (東京証券取引所) ○WEBサイト「東証ティーンズスクール」	
--	---	--	---	--

			(東京証券取引所) ○教員向けセミナー「先生のための夏休み経済教室」 (東京証券取引所) ○教員研修会への講師派遣 (東京証券取引所)		
高 校 生	○刊行物「これであなたもひとり立ち」、「きみはリッチ？」 (金融広報中央委員会) ○カードゲーム「生活設計・マネープランゲーム」 (全国銀行協会) ○どこでも出張講座 (全国銀行協会) ○副教材「生き生きTOMORROW」、「家庭科教材キット：新しい『家庭経済』授業プラン」 (生命保険文化センター) ○F Pによる出張授業 (日本F P協会) ○WEBサイト「くらしに役立つマネークイズ」 (日本F P協会) ○刊行物「10代から学ぶパーソナルファイナンス～社会人になっても役立つお金の知識～」 (日本F P協会)	○教材「ローン&クレジットのABC」 (全国銀行協会) ○パンフレット「かんたんレシピでチェック 銀行の金融商品・サービス」 (全国銀行協会) ○DVD「知りたいけど聞けなかったお金の話 - 金融商品を選ぶ、その前に」 (全国銀行協会) ○授業へ講師派遣 (生命保険文化センター) ○副教材「生活とリスク管理」、「助け合いの歴史」 (生命保険文化センター) ○教材「授業実践プログラム」 (日本損害保険協会)	○ガイドブック「基礎から学べる金融ガイド」 (金融庁) ○刊行物「金融に関する消費者教育の推進に当たっての指針(2002)」、「金融教育プログラム」、「金融教育ガイドブック」、「はじめての金融教育」、「10代のためのマネー入門 - お金やカードについて考えてみよう」 (金融広報中央委員会) ○DVD「見てわかる!金融教育」 (金融広報中央委員会) ○金融教育公開授業の実施、教員セミナーの開催 (金融広報中央委員会、各地金融広報委員会) ○金融広報アドバイザー派遣 (各地金融広報委員会) ○金融・金銭教育研究校制度 (各地金融広報委員会) ○教材「ライフステージで学ぶ銀行」 (全国銀行協会) ○どこでも出張講座 (全国銀行協会) ○研究指定校制度 (全国銀行協会) ○教材「株式会社制度と証券市場のしくみ」 (日本証券業協会) ○教材「ケーザイへの3つのトビラ」 (証券知識普及プロジェクト) ○「株式学習ゲーム」 (日本証券業協会・東京証券取引所) ○DVD「おだんご娘。とフシギな経済テレビジョン～株式会社とお金のしくみ～」 (証券知識普及プロジェクト) ○WEBサイト「金融経済ナビ」 (証券知識普及プロジェクト) ○刊行物「Rainbow News」 (証券知識普及プロジェクト)	○DVD「ズバリ！私のどこがいけなかったの？ 賢くつきあうローン&クレジット」 (全国銀行協会)	○小論文コンクール「金融と経済の明日」 (金融広報中央委員会)

			○講師派遣活動 (日本損害保険協会) ○刊行物「フレッシュャーズガイド(若年層向け損害保険入門手引書)」 (日本損害保険協会) ○出張・受入授業「シェア先生の経済教室」 (東京証券取引所) ○教材・DVD「シェア先生と楽しく学ぼう・株式会社のしくみ」 (東京証券取引所) ○教材「ブルサ・株価の動きで学ぶ経済」 (東京証券取引所) ○刊行物「株式ABC」 (東京証券取引所) ○WEBサイト「東証ティーンズスクール」 (東京証券取引所) ○教員向けセミナー「先生のための夏休み経済教室」 (東京証券取引所) ○教員研修会への講師派遣 (東京証券取引所)		
大 学 生	○FPによる出張授業 (日本FP協会) ○WEBサイト「くらしに役立つマネークイズ」 (日本FP協会) ○刊行物「学生生活マネー&キャリア お役立ちハンドブック!」、「ファイナンシャル・プランニング入門-for Students-」 (日本FP協会)	○キット「社会人のためのマネープランガイド」 (日本証券業協会他) ○セミナー「パーソナルファイナンスセミナー～自分のためのライフプラン～」 (日本証券業協会、日本FP協会) ○授業へ講師派遣 (生命保険文化センター) ○副教材「生活とリスク管理」 (生命保険文化センター) ○刊行物「ほけんのキホン for Beginners」 (生命保険文化センター)	○ガイドブック「基礎から学べる金融ガイド」 (金融庁) ○刊行物「ビギナーズのためのファイナンス入門」 (金融広報中央委員会) ○金融広報アドバイザー派遣 (各地金融広報委員会) ○どこでも出張講座 (全国銀行協会) ○教材「株式会社制度と証券市場のしくみ」 (日本証券業協会) ○「株式学習ゲーム」 (日本証券業協会・東京証券取引所) ○講師派遣活動 (日本損害保険協会) ○刊行物「フレッシュャーズガイド(若年層向け損害保険入門手引書)」 (日本損害保険協会) ○出張・受入講義「大学生のための証券セミナー」 (東京証券取引所) ○刊行物「知っていますか?東京証券取引所」	○DVD「ズバリ!私のどこがいけなかったの? 賢くつきあうローン&クレジット」 (全国銀行協会)	○全日本証券研究学生連盟ゼミナール 討論会支援 (日本証券業協会) ○大学寄附講座の開設 (投資信託協会)

			(東京証券取引所)		
社 会 人	○刊行物「家計夢ノート～ステップワン～」、「生活夢プラン」 (金融広報中央委員会) ○WEBサイト「生活設計診断」 (金融広報中央委員会) ○WEBサイト「人生すごろく」 (証券知識普及プロジェクト) ○WEBサイト「ひと目でわかる生活設計情報」 (生命保険文化センター) ○冊子「定年G o !」 (生命保険文化センター) ○「くらしとお金のF P相談室」 (日本F P協会) ○イベント「F Pの日」、「F Pフォーラム」、「上手な暮らしとおかね展」 (日本F P協会) ○WEBサイト「くらしに役立つマネークイズ」 (日本F P協会) ○「若手社会人のマネー&ライフプラン お役立ちハンドブック」、「くらしとお金のワークブック」、「くらしとお金のQ & A」 (日本F P協会)	○パンフレット「かんたんレシピでチェック 銀行の金融商品・サービス」 (全国銀行協会) ○DVD「知りたいけど聞けなかったお金の話 - 金融商品を選ぶ、その前に」 (全国銀行協会) ○刊行物「はじめての資産運用」、「株式投資の基礎知識」、「確定拠出年金入門」、「個人投資家のための証券税制Q & A」 (日本証券業協会) ○WEBサイト「よくわかる証券投資の基礎知識」 (日本証券業協会) ○キット「社会人のためのマネープランガイド」 (日本証券業協会他) ○若年層女性向けセミナー (証券知識普及プロジェクト) ○WEBサイト「投信総合検索ライブラリー」、「確定拠出年金を学ぼう」 (投資信託協会) ○刊行物「わかりやすい投資信託ガイド」、「REIT ガイド」他 (投資信託協会) ○学習会への講師派遣 (生命保険文化センター) ○刊行物「ほけんのキホン」、「遺族保障ガイド」、「ねんきんガイド」他 (生命保険文化センター)	○ガイドブック「基礎から学べる金融ガイド」 (金融庁) ○広報誌「くらし塾・きんゆう塾」 (金融広報中央委員会) ○刊行物「金融商品なんでも百科」、「暮らしと金融なんでもデータ」、「ビギナーズのためのファイナンス入門」、「金融商品の保護」 (金融広報中央委員会) ○金融広報アドバイザー派遣 (各地金融広報委員会) ○パンフレット「なぜ？ どうして？ どうしたらいいの？ "銀行 Q & A"」 (全国銀行協会) ○どこでも出張講座 (全国銀行協会) ○イベント「投資の日」における全国セミナーの開催 (証券知識普及プロジェクト) ○地方での講演会の開催 (投資信託協会) ○働く女性向けセミナーの開催 (投資信託協会) ○講師派遣制度 (投資信託協会) ○セミナー「未経験者のための投資信託入門」 (投資信託協会) ○講師派遣活動 (日本損害保険協会) ○刊行物「バイヤーズガイド（損害保険契約案内書）」 (日本損害保険協会) ○東証アカデミー（入門講座・基礎講座・選択講座他） (東京証券取引所) ○刊行物「知っていますか？ 東京証券取引所」 (東京証券取引所) ○WEBサイト「東京証券取引所」における各種学習サイト (東京証券取引所)	○「金融トラブルに巻き込まれないためのシンポジウム」の開催 (金融庁) ○パンフレット「実例で学ぶ「未公開株」等被害にあわないためのガイドブック」 (金融庁) ○刊行物「多重債務に陥らないために！」、「はやわかり金融商品取引法&金融商品販売法」 (金融広報中央委員会) ○WEBサイト「わたしはダマサレナイ！」 (金融広報中央委員会) ○DVD「ズバリ！私のどこがいけなかったの？ 賢くつきあうローン&クレジット」、「金融犯罪シャットアウトTV」 (全国銀行協会) ○WEBサイト「ぎんこう寺子屋」 (全国銀行協会) ○WEBサイト「投資者向けの注意喚起」等 (日本証券業協会) ○「未公開株詐欺注意喚起」のPRイベントの開催、リーフレット・DVD等の配布 (日本証券業協会)	
高 齢 者	○WEBサイト「生活設計診断」	○刊行物「はじめての資産運用」、	○ガイドブック「基礎から学べる金融ガイド」	○「金融トラブルに巻き込まれないための	

	(金融広報中央委員会) ○WEBサイト「くらしに役立つ マネークイズ」 (日本FP協会) ○刊行物「今からはじめるリタイ アメントプランニング～50代 から考えるセカンドライフ～」 (日本FP協会)	「株式投資の基礎知識」、「個人 投資家のための証券税制Q& A」 (日本証券業協会) ○学習会への講師派遣 (生命保険文化センター)	(金融庁) ○金融広報アドバイザー派遣 (各地金融広報委員会) ○講師派遣活動 (日本損害保険協会) ○刊行物「知っ得！ガイド(高齢者向け損害保険入 門手引書)」 (日本損害保険協会) ○東証アカデミー(入門講座・基礎講座・選択講座 他) (東京証券取引所) ○WEBサイト「東京証券取引所」における各種学 習サイト (東京証券取引所)	シンポジウム」の開催 (金融庁) ○パンフレット「実例で学ぶ「未公開株」 等被害にあわないためのガイドブック」 (金融庁) ○DVD「金融犯罪シャットアウトTV」 (全国銀行協会) ○自治会・老人会等向け金融犯罪防止をテ ーマとする講演 (全国銀行協会) ○WEBサイト「投資者向けの注意喚起」 等 (日本証券業協会) ○「未公開株詐欺注意喚起」のPRイベン トの開催、リーフレット・DVD等の配 布 (日本証券業協会)	
--	--	---	---	--	--

※「証券知識普及プロジェクト」は、日本証券業協会、日本取引所グループ、東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、投資信託協会、名証取引参加者協会が参加し、長期的・継続的に証券知識の普及・啓発を図ることを目的に各種活動を行っている。